

していますが、将来100店くらいの加盟にしたいと思っています。

その他JR北海道で企画し、人気のある商品として、函館発着で「得ンティホテルパックプラン」「札幌スペシャルパックホテルプラン」「北斗星で東京からJALプラン」いずれも料金が大変お安くなっており人気があります。

その他、札幌←→函館間のスーパー北斗は2時間59分で、一日5往復ですが、もっと多くしてほしいとの要望があります。高速道路がどんどん南下してくると、JRの利用者が減ってくることも考えられ、札幌・函館間については前向きに検討しております。

函館駅の改修については、JRが主体ではなく、国と市との間で駅前周辺整備プランが生まれ、それにJRが参加する形です。また大沼のリゾート計画も進行中です。

いづれにしても地域と密着したJRをめざしておりますので、今後共よろしくご支援をお願い致します。

◎ 出席報告

会 員 数	72名	出 席 率	函 館 北	1月17日	87.32%
出 席	39名		函 館 東	1月16日	92.78%
欠 席	33名		函 館	1月11日	93.01%
他クラブ出席	23名		函館五稜郭	1月12日	100.00%
出席合計	62名		函館亀田	1月15日	祝日休会
除 外 者	1名				

次回・2月14日

プログラム

「卓 話」

函館山ロープウェイ㈱代表取締役社長 西野 鷹志 氏



The Weekly Report of

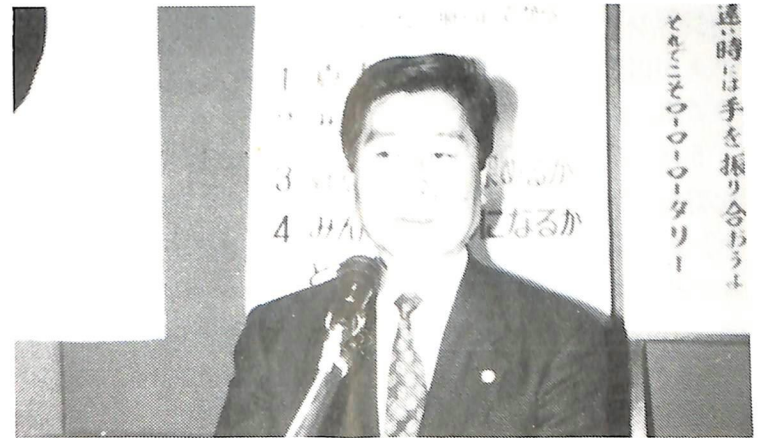
Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

ハーバード G.ブラウン 国際ロータリー会長テーマ

真心の行動 Act with Integrity
慈愛の奉仕 Serve with Love
平和に挺身 Work for Peace

中野 亮会長テーマ ○



2月7日卓話 神崎 國勝氏

《第1573回例会》 第31号 2月14日(水)

本日のプログラム

卓 話 「私 の 旅」

函館山ロープウェイ㈱代表取締役社長 西野 鷹志 氏

★会 長 中野 亮 ★幹 事 遠藤尚孝

例会場：函館国際ホテル 〒040 函館市大手町5-10 TEL 23-5151
例会日：毎週水曜日 12:30～13:30 事務所：函館市大手町5-10 二チロビル3階 23-3870

1995～1996 <第1572回例会> 第30号

2月7日の記録

- ◎司 会 中野 亮 会長 ◎斉 唱 君が代、それでこそロータリー
- ◎ビジター 宮城中新田R.C. 遠藤栄一君、函館R.C. 勝木俊彰君・黒沢康二君・小泉康祐君・澄 信一君・中山浩一君・中澤郁雄君・山内 喬君・渡部正雄君、函館東R.C. 濱口龍司君・齋藤泰弘君、函館亀田R.C. 小島悦郎君・島田勝広君、函館五稜郭R.C. 大田英雄君・上出眞也君・境井正廣君・福岡一成君・最上 淳君
- ◎ゲ ス ト 全日空函館支店 支店長 神崎 國勝 氏

◎会長報告 中野 亮 会長

- 来年度の会長エレクトセミナーが3月24日小樽において開催されます。西尾エレクトが出席されます。
- 地区大会のご案内が来ております。5月10日(金)～5月11日(土)札幌で開催されます。5月10日の15時からの会長・幹事会の会合には、会長・幹事と社会奉仕委員長が出席義務者となっておりますのでよろしくお願い申し上げます。本会議は11日9時より登録、10時点鐘と11日で本会議・懇親会とも全て終るスケジュールになっておりますのでよろしくお願い申し上げます。

◎幹事報告 遠藤 尚孝 幹事

- 台北東北R.C. から会報が届いております。後で回覧しますのでご覧下さい。
- 他クラブ情報ですが、2月19日(月)函館亀田R.C. が夜間例会に変更でございます。
- 先週からご案内申し上げておりましたIMが、今週末にいよいよ森で開催されます。当クラブは30数名の参加者ということですが、ぜひさらにお時間のある方は参加して頂きたい。バスを用意しましたが希望者が100名位になりましたので、これからご参加される方は自家用車でお出下さい。バスは2台ですが大変窮屈ですのでご了承下さい。なおバスの

出発時刻は、10時45分国際ホテル、11時オークランドホテルということですので。駐車場のある所ということで選びましたのでそこまで自家用車で来てバスにお乗り下さい。

- 先程会長からお話がありましたが、地区大会が5月10日～11日とございます。ぜひ皆さまのご参加をお願いしたいと思います。
- 例会終了後、理事・役員会を開催いたします。

◎親睦活動委員会 南木 哲雄 委員長

ニコニコBOX投入報告

- 遠藤栄一君(宮城中新田R.C.)……メーカーアップにうかがいました。
- 西尾 会員……誕生月です。
- 松見 会員……BOXに協力
- 奈良 会員……会報担当です。
- 久保 会員……BOXに協力
- 小笠原会員…… ”
- 真部 会員…… ”
- 山崎(英)会員…… ”
- 椎谷 会員……月始めです。
- 石上 会員…… ”
- 東田 会員……誕生月です。
- 遠藤 幹事……BOXに協力
- 松橋 会員……奨学金、本日支給致します。
- 石川 会員……BOXに協力
- 佐々木会員…… ”
- 小林 会員……今朝FMいるかに出演しました。
- 中野 会長……月始めです。
- 澤 会員…… ”
- 伊藤 会員……今年始めてです。
- 藪下 会員……月始めです。
- 中里 会員……BOXに協力
- 緒方 会員…… ”

島本 会員……BOXに協力
 青田 会員……月始めです。
 南木 会員…… ”

◎卓話 「出かけよう日本へ おいでやす函館へ」

全日空函館支店 支店長 神崎 國勝 氏

日頃は当社をご利用いただきまして厚くお礼申し上げます。私も昨年
 の7月にこちらにまいりまして、やっと函館の街が概略分ってきたところ
 でございますが今後ともよろしく願いたいと思います。

今年の4月1日からは新しい路線として、函館から広島・函館から新潟
 と2路線を開設することになりましたのも皆様のお力添えの結果だと思
 っております。この路線につきましても函館と広島・新潟との結びつきが
 より強くなるのではないかと思います。また今日新聞等でご覧になったと思
 いますけれども出していただきました。東京・函館間、東京・札幌間、こ
 れは幅運賃といいまして、割引制度を導入しろということで、従来よりも
 幅広く運賃の割引という形になりまして、従来は許認可で長時間かかりま
 したが、今回からは届出制という形になり、大きく「多客期」「閑散期」
 「通常期」の3つの段階に運賃を自由に申請した中で、何%という幅の中
 で設けていくことになると思いますので、常に一定の運賃から従来とは若
 干変わってくるかなと思いますし、今日の新聞に出ていたのは、こういう
 形でやりたいということでありまして、正式に金額が東京・函館でいくら
 になるかまだ決めておりません。現時点で概算を出しますとそのような運
 賃になってしまうのではないかなという形でございますので、この辺につ
 きましては具体的にはこれからでして、適用は6月以降ということで申請
 する予定ですので、運賃幅というものも変わってきますし、航空会社3社
 間と同じ運賃だということは今後変わってきますので、JALさん、エア
 システムさん含めて国内の運賃が航空会社によって、かなり変わってくる
 運賃体制になってくると思います。利用者の皆様からは運賃からみれば選
 定しやすくなり、安い所に乗れるということになりますし、いろいろ形態
 は変わってまいります。いずれ詳細は案内させていただきます。

本日の話の題ですが、「出かけよう日本へ、おいでやす函館へ」となっ
 ておりますが、何を話そうかと悩んでおります。先程紹介されましたように
 私は北海道が大好きです。転勤族にとって人気が一番の北海道に通算13年
 間も居られるのは皆からうらやましがられております。何で北海道が好き
 となったかという、まず一番に人が非常に人情味あふれる方が多い。ま
 た個性的な方が多いこと、あと四季がはっきりしていることです。同じ日
 本でありながら、こうも違うのかと思います。また縦に長いのが日本であ
 ります。そういう中でどうしたら北海道の良さをPRすることができるか
 ということを考えています。非常に北海道というものは地域によって変
 わっております。「出かけよう日本」という形で、全日空が最初に東京から
 千歳、あるいは函館という空港に入りましたが、いかに北海道を売るかと
 いうことですが、夏はだまっけても来てくれますが、いかにして冬期間
 をうめるかということでもあります。日本は縦に長いので、夏は北海道、冬
 は九州ということでキャンペーンを組んでおります。このような中で夏場
 はもう客はいらないという状況の時期もありました。それは色々な観光設
 備、あるいは宿泊施設、いろいろのものがああります。冬の北海道という
 のをどうにかして充実させませんといけません。私共も日航さんも含め
 て、千歳便は3社で約40便ありますし、函館は8便飛んでおりますが、北
 海道はいかにパイが大きいかということでもあります。この冬場と夏場の利
 用率が極端に変わってしまうことです。いかに冬期を埋めていくかであ
 ります。昭和45年に全日空が初めて企画したのが北海道にスキー客を運ぼう
 ということでしたが、当初は500人でした。飛行機に乗って北海道まで行
 くかということでしょう。今は1社が17~18万人を運んでいるので40万人
 位になるのではないかと思います。スキーの発祥の地は北海道、それから
 施設が色々出来て富良野・トマム、あるいは函館大沼という形で幅広く拡
 げられるようになり、冬の商品はスキーだけが目玉であったわけですが、
 ただそれだけでは不足です。冬は飛行機の中が沢山空いているがこれを埋める
 には航空会社だけでは出来ません。地元の皆さんと旅行会社の皆さんの協
 力がぜひ必要であります。特に函館には年間何百万人という人が来てい
 るわけですが、ただ通過してしまうだけのお客様も多いのではないと思
 います。旅行代理店の方とかに聞いて見ると、現地の方に注文を出しても厳し

いものがあるようです。航空会社の座席をいつどうやって仕入れているかという裏話をしますと、すでに今年の夏の商品の席というものは、旅行代理店さんに一年前から団体席を解放し、申し込み受け付けております。つまり旅行代理店さんは一年前に来年の部分を含め出来上っているわけですが、その中で私共にリクエストがくるということです。4月からのことも一年前から地元のホテル・バス・土産物店などとの準備が全て出来て店頭に出てまいります。

函館についてのイメージは道外のお客様は、一番何を思っているかは、夜景であろうかと思えます。函館の夜景は誰でも知らない人はいない位有名であるが、ただ函館がこれからも夜景だけで良いのでしょうか。私共としても夜景だけではとてもではないが観光資源として足りないのではないかと思います。BAYや古い建物を見て歩きましたが、ほかに観光資源はないのかということをお問われていると思います。昔は団体旅行が主体であったが、現在は自由に散策する人々が多くなってきております。函館と比較出来るのは小樽の町がありますが、小樽にはあれほど大勢の若者が行くのは何か魅力があるのではないかと思います。函館にも夜景があり素晴らしいものもあるのでPR不足ではないかと思っています。それには旅行代理店さん、航空会社がセールスというものに再度考え直してもらったかどうかと思っております。

函館の中には大変難しい問題もあります。それは市内のホテルさんと湯の川温泉があります。この2つは相互に競争しながら違う立場のグルメというのがあるわけですから、温泉的なリゾートの対応の仕方、あとシティホテル型の対応という形に変わりつつあるわけですが、大変だと思えます。最近の旅行形態をみますと夜の夜景を見たい要望が強いわけですが、湯の川温泉の場合には、夏場は暗くなるのは7時になりますので夕食は9時頃になります。従業員は大変になるし旅行代理店から見ると高くなるし、この金額では出来ないという問題にもなります。今後旅行の形態が変わってしまうと思われるので工夫が必要です。今の状況では一泊で次へ移動していくのですが、これからは滞在型の旅行商品を増やしていきたい。私共関連旅行代理店へも函館で最低2泊の商品をつくるように心がけております。あとは函館のイメージとしてはグルメであります、朝市の

問題があります。朝市については観光的朝市に変化してしまいました。ほんとうはドロドロした台所を賄う市場が望ましいとお客様は思っております。昨年末に焼けた自由市場が何故バスが連らなっていたかということです。お客様のニーズに合わせて行かねばなりません。市場と観光土産店とは違うということでございます。

私は東京に居りましてセールスに行った時の話ですが、函館・札幌という道南コースはひとつすばらしいコースが出来あがるわけですが、しかしそのコースの要望の中に、函館の場合は夜景を入れてほしい、朝市に連れて行ってほしい、あと札幌の場合はすすきのに放してほしいというのがメインでしたけれど。その中で函館のグルメである朝市が様変わりしたのでこの面に力を入れていき、元町もありますのですばらしいコースになると思っておりますし、PRに努めております。これからは飛行機も7月からほとんどジャンボにボーイング777を6月より初めて導入してまいります。受け地の協力がなければ出来ません。例えばお客様が増えても現地に宿泊施設が無かったり食事の対応も出来ないのでは紹客も出来ないわけです。2月には函館でも「冬のフェスティバル」をやっておりますが、地元ではやっていると思っておりますが、それに満足してはいけないと思っております。地元だけでなく冬の北海道に来ていただくことによって地元が良くなるという部分があるわけですから、PRは北海道庁がやるべきだと思っております。札幌で雪まつりをやっておりますが、200万人以上の方が訪れますが千歳空港だけでは対応できません。そこで函館から札幌へ、また札幌から函館へということで函館空港を利用するわけですが、そこで函館に1泊してもらおうよう工夫が必要でありますし、PRも大切であります。大手の旅行代理店は一年前に全て決めているわけですが、函館のイカ踊りも他から参加が出来ないものかと考えております。そうすれば大きなイベントになるのではないかと思います。

私共の会社としては、お客様を安全に運ぶことが使命ですが、それだけでなく地元で喜ばれるようにやりたいと考えております。4月から広島・新潟の路線が開通されますが、すでにパンフレットは出来ております。函館は港がありますのでこれをどう生かすかを考えていきたい。それにはベイ・倉庫群をどうするか、そして小樽の客を函館に取り戻したい。また冬

の商品の開発に地元と一緒にやっていきたいと思っております。例えばオホーツク海沿岸では流水が商品になっております。網走では「オーロラ2」という船(500トン、400~500人乗り)を2艘が流水の中を走っており、予約だけで30万人位あるということです。紋別では「ガリンコ」という船がリタイアしてこれを来年に向け500人乗りの砕氷船を作ることになっている。従来邪魔者扱いの流水が観光資源になっております。函館の次にローカルで一番便数が増えたのが女満別空港です。東京・名古屋・大阪・福岡、6月からは広島・仙台とつながります。同じ道内で拠点になってきましたのが道東でございます。今後道東に負けないためには皆様の新たな知恵を拝借しなければならないと思っております。函館空港では当社のお客様は東京間70万人、大阪18万人、名古屋10万人で約100万人おり、日航とで約150万人以上がこちらにお出でになっております。平成11年には滑走路が3000mになります。函館は北海道の入口で一番歴史があるということで新しい観光資源が沢山あると思っております。それを掘り出していきたい。空港は道内で2番目、ジェット化も2番目でありました。函館は北海道の入口として船・レール・空と3つあります。これをぜひ生かしていきたいと考えております。何でも良いので身近にあるものでアイデアがありましたらぜひ教えて頂きたいと思えます。

◎ 出席報告

会員数	72名	出席率	函館北	1月24日	84.29%
出席	41名		函館東	1月23日	90.25%
欠席	31名		函館	1月18日	84.32%
他クラブ出席	18名		函館五稜郭	1月19日	100.00%
出席合計	59名		函館亀田	1月22日	96.00%
除外者	2名				

次回・2月21日
プログラム

「卓話」



The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

ハーバード G.ブラウン 国際ロータリー会長テーマ

真心の行動 Act with Integrity
 慈愛の奉仕 Serve with Love
 平和に挺身 Work for Peace

中野 亮会長テーマ ○



2月14日卓話 西野 鷹志氏

《第1574回例会》 第32号 2月21日(水)

本日のプログラム

卓話 「野菜が食卓にのぼるには？」

小笠原 孝 会員

★会長 中野 亮 ★幹事 遠藤尚孝